



桃五だより

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>



No.617

(11月号)

2022.11.1

生涯にわたって親しむ

主幹教諭 飯守 真一

10月8日(土)に桃五スポーツフェスティバル2022が行われました。各学年、練習の成果を十分に発揮し、表現運動や短距離走に取り組みました。当日は、多くの保護者の方にご参観いただき、本当にありがとうございました。

さて、そのスポーツフェスティバルは、日ごろの体育学習の成果を発揮する場ですが、そもそも「体育科」の学習が最終的に目指すところは、生涯にわたってスポーツ(運動)に親しむ態度(豊かなスポーツライフ)を育むことにあります。そのために、全学年以下の4つの視点を大切に体育の学習を進めています。

「する」: 実際に運動をする、体育的活動を行う等
「知る」: 動き方や行い方、技のポイントやゲームのルールを知る等
「見る」: 友達の動きや様子を見る、スポーツ観戦をする等
「支える」: 友達にアドバイスをする、友達を励ます、応援する、準備をすすんで行う等

今回のスポーツフェスティバルでは、「する」だけでなく、特に「見る」「支える」の成長を感じる場面がいくつもありました。

<その1>

高学年の部、5年生の桃五ソーラン。昨年度、自分たちもソーラン節を踊っていたこともあり、6年生は目を輝かせて演技を見ていました。中には、一

11月の生活指導目標

すすんで仕事に取り組もう

力を合わせた桃五スポーツフェスティバルが終わり、子供たちは次の大きな行事である学芸会に向けて頑張っています。疲れの出る時期ではありますが、自分の担当する係や当番にすすんで取り組み、責任をもってやり遂げていけるよう、学校全体で指導していきます。

緒に踊りだす子、「どっこいしょ、どっこいしょ」「ソーラン、ソーラン」と声を出す子が何人もいました。5年生の演技をしっかりと見て、受け止め、踊りや声で応援する。「見る」「支える」の素晴らしい姿が見られた一場面でした。

<その2>

スポーツフェスティバル前のある日、休み時間に校内を回っていると、いくつものクラスで踊りの練習をしている姿がありました。ダンスリーダーの子を中心に、友達に動きを教えたり、励ましたりする姿、友達の動きをよく見て自分の動きに生かそうとする姿など「見る」「支える」姿がたくさんありました。

桃五小の子供たちは、日々こうした経験を積み重ね、成長しています。そして、「生涯にわたってスポーツ(運動)に親しむ態度」を確実に育み続けています。将来大人になった時、どのようにスポーツ(運動)と関わっているのか、親しんでいるのか、今から楽しみです。

最後に、11月18日(金)、19日(土)に学芸会が行われます。各学年、みんなの力を一つにして、劇をつくり上げることの難しさや喜びを感じながら練習に励んでいます。スポーツフェスティバル同様、学芸会が演劇や歌唱に生涯にわたって親しむ力を育むきっかけとなれと思います。鑑賞日当日、子供たちの演技、歌唱をどうぞお楽しみに。